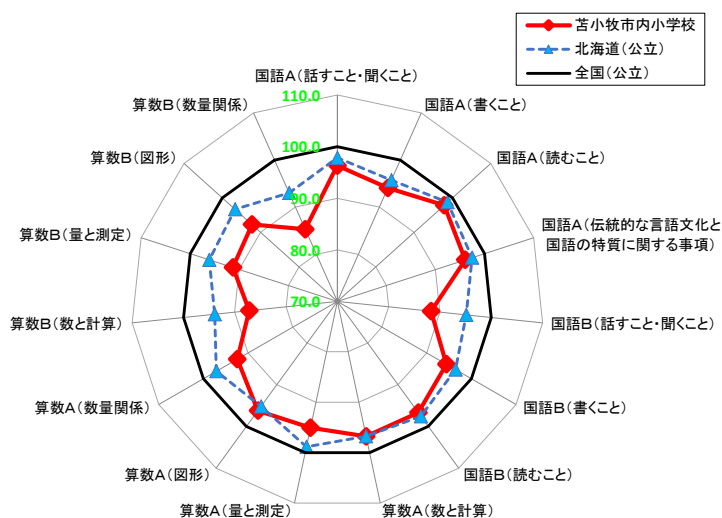


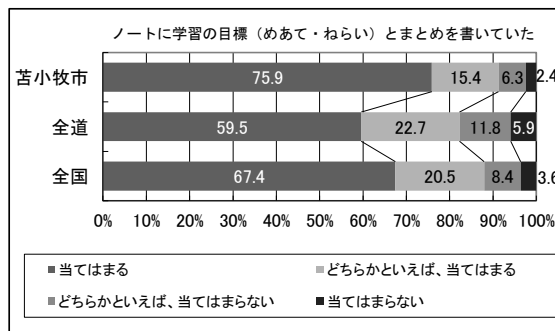
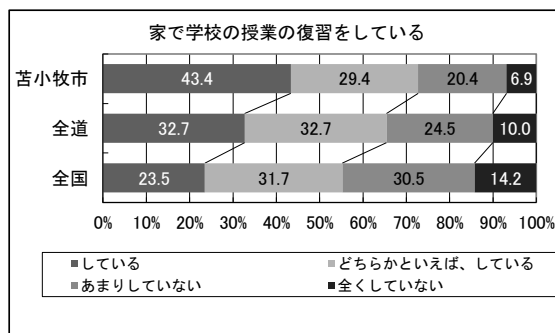
■ 苫小牧市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:24、児童数:1518名)

【教科全体の状況】

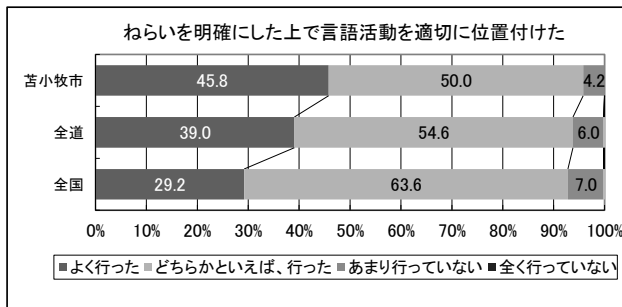
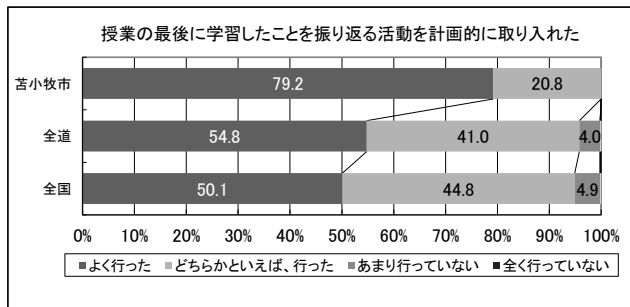
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語では、すべての領域で、全国を下回っているが、A・Bともに「読むこと」で、全道とほぼ同様になっている。 ○ 算数Aでは、「数と計算」で、全道とほぼ同様であり、「図形」で、全道を上回っている。算数Bでは、すべての領域で、全道を下回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で、目標を確実に示し、最後には振り返る活動を通じて定着を図る取組を行うとともに、児童は板書した事柄をノートに確実にまとめることにより、家庭においても学習を振り返ることができるようになり、学習の定着が図られ、全国との差が小さくなったと考えられる。 |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で学校の授業の復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「ノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した児童の割合が、全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で、各教科等の指導のねらいを明確にし、言語活動を適切に位置付けた指導を行うことにより、国語科における言語活動の充実はもとより、算数科における「思考力・判断力・表現力等」が育成され、全国との差が小さくなったと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「ねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 | |

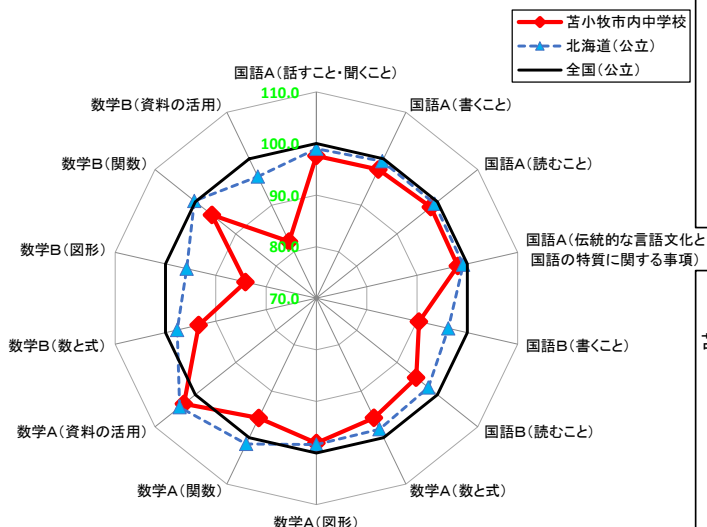
【苫小牧市の学力向上策】

- ◎ 苫小牧市学力向上推進資料(苫小牧っ子学力UP!ハンドブック・授業改善リーフ)の作成・全教員への配付
- ◎ 苫小牧市教育研究所授業改善研究委員会による教職員研修の充実
- ◎ 小・中学校間の継続した学習指導の連携
- ◎ 家庭教育に関する情報紙【「ほ・む・す・く」(ほーむ&すーくる)】の発行

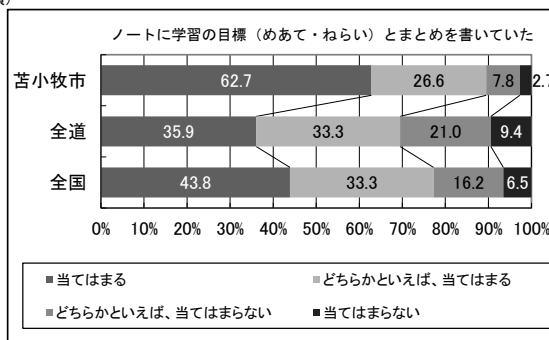
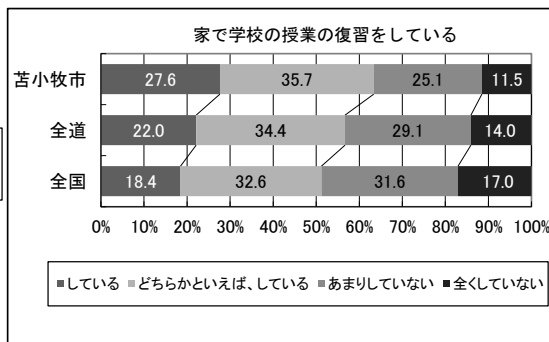
■ 苫小牧市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:14、生徒数:1464名)

【教科全体の状況】

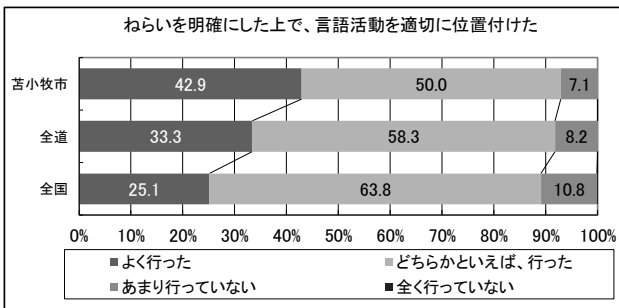
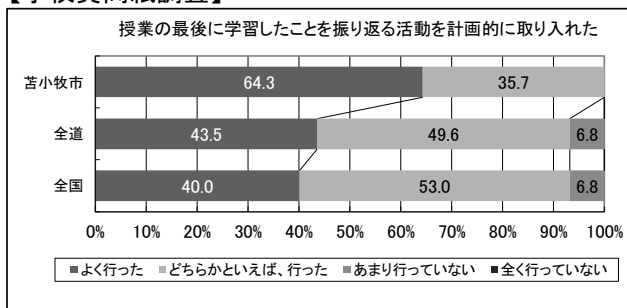
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

| | | |
|-------|---|--|
| 教科 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aにおいて、全国の平均正答率を下回っており、全道とほぼ同様になっている。 ○ 数学Aでは、「資料の活用」で、全国を上回っており、「図形」で、全道とほぼ同様になっている。 ○ 数学Bでは、「図形」「資料の活用」で、全国との差が大きくなっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で、目標を確実に示し、最後には振り返る活動を通じて定着を図る取組を行うとともに、生徒は板書した事柄をノートに確実にまとめることにより、家庭においても学習を振り返ることができるようになり、学習の定着が図られ、全国との差が小さくなったと考えられる。 |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「家で学校の授業の復習をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「ノートに学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書いていた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業の中で、各教科等の指導のねらいを明確にし、言語活動を適切に位置付けた指導を行うことにより、国語科における言語活動の充実はもとより、数学科における「思考力・判断力・表現力等」が育成され、全国との差が小さくなったと考えられる。 |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 「授業の最後に学習したことを振り返る活動を計画的に取り入れた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「ねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けた」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 | |

【苫小牧市の学力向上策】

- ◎ 苫小牧市学力向上推進資料(苫小牧っ子学力UP!ハンドブック・授業改善リーフ)の作成・全教員への配付
- ◎ 苫小牧市教育研究所授業改善研究委員会による教職員研修の充実
- ◎ 小・中学校間の継続した学習指導の連携
- ◎ 家庭教育に関する情報紙【「ほ・む・す・く」(ほーむ&すーくる)】の発行